



O-0179 テープかぶれしやすい患者のピュアバリアhdモイストジェル（保湿剤）の効果

岩城 智美¹, 鈴木 恵理香¹, 吉江 祐¹

上尾中央腎クリニック¹

【目的】当クリニックの患者95名中、35.4%にかぶれが見られ、個人に合わせたテープに変更していた。今回ピュアバリアHDモイストジェル（以下ピュアバリア）を用い、基準使用しているスキナゲートメッシュテープでのかぶれの有無と業務上の効果について検討する。【方法】テープかぶれにより基準ではないテープを使用している患者34名を対象とする。ピュアバリアを塗布し、基準テープ貼付後の状態、時間と料金のコストの変化から検討する。【結果、考察】ピュアバリア使用により、基準のテープ使用出来るようになった患者は26名である。かぶれの症状で一番多かったのは痒みの症状であり、20名中16名が基準のテープを使用できるようになるが、皮膚の菲薄や皮膚疾患がある患者は症状が改善しない例がほとんどであった。テープの種類は4種類から2種類に減り、業務時間は20分短縮した。しかし、料金コストは約2倍となった。ピュアバリアは痒み症状のかぶれに効果はあるが、適応やコストを考慮し選択していくことが望ましいと考える。